

令和6年度 北海道森林管理局第2回分収林評価委員会の議事概要

1. 日 時 令和6年12月11日（水）10時00分～11時30分

2. 場 所 北海道森林管理局 4階 中会議室

3. 議 題 分収育林契約の国による費用負担者の持分の買受けについて

第1号議案	宗谷森林管理署	小石国有林	1018	い林小班の買受けについて
第2号議案	宗谷森林管理署	鬼志別国有林	1030	は林小班の買受けについて
第3号議案	宗谷森林管理署	中頓別国有林	2016	い林小班の買受けについて
第4号議案	宗谷森林管理署	敏音知国有林	2067	わ林小班の買受けについて
第5号議案	上川中部森林管理署	愛別国有林	58	ま林小班の買受けについて
第6号議案	上川中部森林管理署	日東国有林	2144	は1林小班の買受けについて
第7号議案	上川南部森林管理署	上トマム国有林	245	わ林小班の買受けについて
第8号議案	渡島森林管理署	駒ヶ岳国有林	1167	い林小班の買受けについて

4. 出席者

委員長 菅澤 紀生

委員 奥村 篤、濱田 修弘

北海道森林管理局 森林整備部長、森林整備第一課長、資源活用第一課 課長補佐、
森林整備第一課 監査官、分収林係

宗谷森林管理署 事務管理官、森林整備官

上川中部森林管理署 総括森林整備官、主任森林整備官

上川南部森林管理署 森林情報管理官

渡島森林管理署 総括森林整備官、主任森林整備官

5. 議事概要

委員による審議の結果、持分買受金額は適正に評価されていると判断された。

なお、主な質疑応答は次のとおり。

委員：一部買受を行う契約について、買受を行わない者は今後どのような手続きになるのか。

局：契約者に意向の確認を行い、一人でも販売を希望する者がいれば次年度以降も販売を行っていく。

委員：昨年に比べて、全体的に評価額が安いように思うが今年の一般的な傾向としてはどのような状況か。

局：木材需要の低迷等により昨年よりも木材価格が低下し、経費等は増加しているので評価額は昨年より安くなっている。

委員：契約時には存在せず、その後に契約地に生育した樹木もあると思うが、そういったものは評価額には含まれているのか。

局：契約後に契約地に侵入し生育した後生樹についても評価額に含まれている。

(第1～4号議案関係)

委員：3号議案について他の議案と比較して特に評価額が安くなっているがなぜか。

局：3号議案については他の議案と比較して、立木の胸高直径が小さく、立木単価が安くなるため。また、伐採した立木を集積する土場を伐採箇所から離れた場所に設定する必要があるため、搬出路の作設延長が長くなり、作設経費がほかの議案より多くかかるため。

委員：3号議案の搬出路作設等経費について他の議案と比較して高くなっているのはそのためか。

局：そのとおり。

(第5～6号議案関係)

委員：6号議案について他の議案よりも作業条件等が良いことから評価額が高くなっているのか。

局：傾斜が緩く、林道からも近い等、作業条件が良いことも一因となり評価額が比較的高くなっている。

(第8号議案関係)

委員：8号議案について、本来は令和4年度に主伐時期を迎えていたが、林道工事のため1年間主伐時期を延長したとのことだが、その間は森林の管理は行うことができたのか。

局：その他の既設の道を利用し管理は行うことができた。

以上